

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 10月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	2771200330		
法人名	社会福祉法人 永楽福祉会		
事業所名	グループホーム 永楽		
所在地	大阪府泉南郡熊取町野田3丁目2069番地の2 (電話) 072-451-2802		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪府大阪市天王寺区堀越1-1 四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成21年10月1日	評価確定日	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、和泉山脈や熊取町の町を一望できる見晴らしの良い高台の住宅街に立地し、四季の景色を満喫できる素晴らしい環境の下にあります。入居者一人ひとりの思いを聞き、自分らしく暮らせるように、本人のできることはしてもらっており、できないことを介助し、共に過ごし支える関係が作られています。併設のデイサービスセンターやケアハウス等と合同行事を通して、地域住民との交流も盛んに行われ、地域住民とのふれあいを大切にされています。又、書類も充実しており、家族カンファレンスや家族の意見を取り入れた、介護計画書を作成されており、入居者本位の自立支援に向けた援助がなされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価で明らかになった課題は、職員間で話し合い、改善に向け、利用者が快適に過ごせるように取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	評価の意義や重要性をよく理解し、自己評価に関しては職員の意見をよく聞いたうえで問題点の改善に向けて取り組まれています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	定期的に運営推進会議を開催し、行政、地域、住民、入居者の家族の方へホームの現状や取り組み、外部評価の報告など行い、意見や助言を受けて、サービスの質の確保に努められています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	ホーム内に苦情受付箱を設置して、広く意見を取り入れられるようにされています。又、年1回家族会を開催し、意見や要望を、運営に反映されています。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事に参加したり、ホームの行事にお招きしたりと地域とのかかわりを積極的に推進するとともに、小学校の体育祭に参加するなど、子ども達との交流も深められています。

【情報提供票より】(21年9月7日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15年 1月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 6人, 非常勤 3人, 常勤換算	8.0人

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	3 階建ての	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月)	円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,320 円		

(4)利用者の概要(9月 7日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護1		要介護2	3名			
要介護3	4名	要介護4	2名			
要介護5		要支援2				
年齢	平均	89.5 歳	最低	84 歳	最高	95 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	特定医療法人三和会 永山病院
---------	----------------

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念として「安らぎと生き甲斐のある暮らし」と掲げられ、入居者ひとりひとりに合った、心のこもった優しいサービスを大切にされています。	○	地域密着型サービスとして地域とのかかわりを大切にされています。このような思いをグループホーム独自の理念として明確に打ち出されることが望まれます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングで理念の唱和を行い、日々意識して実践できるように取り組まれています。	○	入居者や家族へよりホームの思いが伝わりやすくなるように、ホーム内のよく見える場所に掲示することが望まれます。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に参加したり、ホームの行事にお招きしたりと地域とのかかわりを積極的に推進するとともに、小学校の体育祭に参加するなど、子ども達との交流も深められています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や重要性をよく理解し、自己評価に関しては職員の意見をよく聞いたうえで問題点の改善に向けて取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催し、行政、地域、住民、入居者の家族の方へホームの現状や取り組み、外部評価の報告など行い、意見や助言を受けて、サービスの質の確保に努められています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	困ったことやわからないことは気軽に役所に相談が行えるよう関係を築いておられます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が来訪されることが多いので、その時々により頃の様子など細かく伝えられています。又、一人ひとりにアルバムを作り、家族に見ていただいており、日頃の状態がよりわかりやすいように工夫されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に苦情受付箱を設置して、広く意見を取り入れられるようにされています。又、年1回家族会を開催し、意見や要望を運営に反映されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新職員の紹介を行い、馴染みの関係が持てるようにされています。入居者と職員の馴染みの関係を大切にするという認識から、職員の異動はできるだけ少なくなるように配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	相互研修や内部研修、勉強会が盛んに行われています。外部研修に参加した際も、ホーム内での伝達研修など、周知できるようにされており、研鑽に努めておられます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のホームとの相互研修やケアマネ連絡会などに参加し、サービスの質の向上に対する取り組みをされています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学していただき、他の入居者や職員と顔合わせを行い、できるだけ不安を少なくし、少しずつ馴染めるように配慮されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	掃除や食材の下準備や片付けなどできるところは一緒に行われています。おやつ作りなど入居者から教えてもらったりと、支えあう関係を築いておられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の趣味や経験を活かした生活ができるよう、日常生活の中からや家族の来訪時の話の中から、聞きだせるように努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族に希望を聞き、それをもとに管理者、ケアマネージャー、介護職員のチームでサービス担当者会議が開催され、本人がよりよく過ごせるための介護計画が作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度の計画の見直しが行われています。又、状態に変化があった場合にはその都度、本人や家族と話し、サービス担当者会議が開催され、計画の見直しが行われています。介護計画に対するケアチェックも毎日記録され、状態の変化が把握できるようになっています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	訪問看護との契約により医療連携体制が整備され、利用者の緊急時には24時間の連絡体制があります。又、利用中の医療処置や入退院の相談にも柔軟に応じています。その他にも、買い物・散歩・通院等の外出の支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院からの往診と訪問看護師の訪問が週1回あり健康管理がなされています。又、別の病院の受診を希望することも可能です。その際、状況に応じて通院の援助も行なっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針が作成され、本人・家族・主治医及び介護職員と話し合いがもたれ対応に関する方針が共有されています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	接遇マナーについての研修及びプライバシーの確保を議題とした会議を通して、プライバシーに関する意識の向上が図られています。職員の優しい言葉かけと丁寧な対応で利用者が穏やかに過ごされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日一日の日課や行事等予め用意されていますが、利用者一人ひとりの意思を尊重し、できる限り希望に合わせた援助が出来るように努力されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食の一品作りやおやつ作り、食事の準備や後片づけ等を職員と一緒にいき、利用者の力が発揮できる機会が設けられています。又、一週間に1回選択食の日があり、楽しみがもてる工夫がされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週3回の入浴日が用意されていますが、本人からの希望があればそれに合わせて入浴されています。	○	今後、夜間に足浴の支援を検討されています。利用者が気持ちよく入浴できることを期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の暮らしの中で、食器洗いや洗濯、掃除等出来るところを職員と一緒にいき、利用者の持っている力を発揮できる場面を作っています。又、散歩や買い物、クラブ活動や毎月の行事等、利用者が楽しみを持って生活が送れるような支援が行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の状態に合わせて、散歩や買い物等の外出支援が行われています。又、毎週面会時に食事に出かけられる方もおられます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出入り口にはセンサーが設置されているが、鍵はかけられていない為、職員の見守りが徹底されています。落ち着きがなく、出入り口の方に向かう利用者がいれば、周辺を散歩するなどの対応をし、鍵のかけないケアが実践がされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防マニュアルがあり、それをもとに消防署立ち会いで年2回の消防訓練が行われ、それ以外にもホーム独自で毎月消防訓練が行われています。又、日頃より近隣との災害時の対応体制が出来ています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に法人全体の栄養会議が開催され、利用者の栄養バランスがとれるように話し合いが行われています。又、食事量や水分量のチェックを行い、利用者の状態の把握に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には中庭があり植物の緑が見られ、風通しがよく、廊下には腰掛け用のソファが置かれ心地よく過ごせる空間になっています。又、食卓には季節の花、壁には手作りのカレンダーや利用者の季節にあった書道や絵手紙等の作品が飾られ、季節感が感じられるような空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具や好みのものが持ち込まれ、心地よく過ごせる居室になっています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。